

新東京ライン第二期工事の完工について

平成 12 年 12 月 14 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京、社長：磯野 啓）は、天然ガス供給体制を強化するため、既存の東京ラインの補強策として、新東京ラインの建設を開始し、この度その第二期工事が完工いたしました。

当社は、新潟県内で産出される天然ガスを、地元新潟県はもとより、昭和 37 年に完成した「東京ライン」によって、長野、群馬、栃木、埼玉の各県の都市ガス事業者（16 事業者）を通じ、一般家庭を中心に約 50 万件の消費者に供給しています。地球環境保全に対する意識の高まりから、パイプライン沿線の天然ガス需要は年々堅調な伸びを示しています。当社は、ガス輸送能力を確保するため、平成 7 年より東京ラインに併走する形で「新東京ライン」の建設を開始し、第一期工事につきましては、当社頸城圧力調整所（新潟県中頸城郡頸城村）から野尻バルブステーション（長野県上水内郡信濃町）までの 52Km を平成 9 年 11 月に完工して運用を開始しております。

今回の第二期工事は、野尻バルブステーションから軽井沢バルブステーション（長野県北佐久郡軽井沢町）まで約 93Km の区間について平成 9 年に着工、この度工事を完了し東京ラインに接続いたしました。これにより、既存の東京ラインと合わせて総合的な送ガス能力が拡大し、当面の需要の自然増に対応できるほか、新たな需要開拓を積極的に進めることが可能となります。

なお当社では、増強された供給能力を基に、地球環境に優しい天然ガスの一層の利用促進を目指して、現在、松本ライン、甲府ライン、入間ラインの建設を進めております。

【新東京ライン第二期工事概要】

- | | |
|----------------|--|
| 1. パイプライン名称 | 新東京ライン |
| 2. 工事区間（第二期工事） | 野尻バルブステーション（長野県上水内郡信濃町）と軽井沢バルブステーション（長野県北佐久郡軽井沢町）の間 93Km |
| 3. 管径 | 500mm（20 インチ） |
| 4. 設計圧力 | 70Kg/cm ² |
| 5. 建設業者 | 新日本製鐵株式会社 住友金属工業株式会社 日本鋼管株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社熊谷組 |

以上

